

伸びる子

やさしく (愛いっぱい)
かしこく (夢いっぱい)
たくましく (元氣いっぱい)

令和6年
6月17日
五島市立
奥浦小学校
文責 橋詰稔

第5号



おいしいかんころもち目指して

楽しい「いもさし」

楽しい「田植え」

五月末、お日様がニコニコする中、一年生から四年生が、学校の畑に「いもさし」を行いました。四月当初から平山先生、校務員の橋本さんが畑の準備をし、町協会長の浦さんにトラクターで耕していただきました。そして、農協の方に畝を立てていただきマルチも張っていただき、準備万端の中での作業でした。

「お」の方の説明を聞き、待ちに待った日も差します。四年生は一年生に教えながらのいもさし。緊張しながらも、丁寧に教えながら作業をすることができました。



続いて六月中旬、塩水選から育てた米の苗を田んぼに植えました。全校児童が楽しみにしてた、奥浦小学校名物「田植え」です。五六年生が考えたレクリエーションを行いながら「代掻き」を行い、その後、張られた系に沿って、「うるち米」と「餅米」を丁寧に植えていきました。レクリエーションでは、どんなになりながら田んぼの泥の感触を味わいました。

稲は、山崎さんの指導を仰ぎながら、また、経験者の六年生が指導しながら一生懸命植えていました。他所では体験できない貴重な学びです。

秋の収穫が楽しみです。



スマホ・ネット安全教室

先日の教育週間・道徳授業参観ご来校ありがとうございました。「命」について真剣に考える子どもたちの姿、いかがでしたか。命を輝かせるためには自己肯定感を上げていく必要もあります。様々なアプローチで子どもたちは一生懸命考えていました。

さて、その後学校保健委員会を開催し、エドコモ様のご協力で、標記講演会を行いました。今後、子どもたちはネット世界で生きていきます。その怖さ、対処の仕方についての講演会でした。参加された方は一度していますが、裏面に各家庭でのルールの決め方のプリントを載せています。まだ持たせていないご家庭もあると思いますが、そういったご家庭では、もし持たせたら、という視点でしてみてください。よろしく願います。

根を育てる2

(非認知能力を伸ばすために)

非認知能力には「自己に関する能力」「社会性・人と関わる能力」という二つの柱があるそうです。そしてその基盤となる能力が、「感情を管理する能力」だそうです。

「感情を管理する能力」

- 一 目先の利益や安楽を優先するか、それらを我慢し、もう少し先にある大きな利益をめざすか。
- 二 自分の利益を優先するか、それとも他者の利益(他者に危害・迷惑・不利益をかけないこと)や公共の利益を重視するか

自分の感情をコントロールする(利己主義に走らない)ことが、「根」を大きくすることに影響しそうです。

「自己に関する能力」の中で私が気になるものが下に示している「GRIT」という力です。前回「非認知能力とは」という話の中でお伝えしたとおり、測定不能な力です。

この四つの要素をご覧になっていただければわかりますが、勉強でも運動でもこの「GRIT」は重要なものです。

その他、「自制心」「協調性」「道徳性」「倫理観」「規範意識」「公共性」...といった、感情をコントロールする力が二つの柱の基盤となる能力だそうです。「自分に克つ子」です。

GRIT(グリット)

Guts : 困難なことに立ち向かう力
Resilience : 失敗しても諦めずに前に進むしなやかさ
Initiative : 自分で目標を見つける主体的な力
Tenacity : 目標達成に向けて執念深く続ける粘り強さ